

## 令和3年度 二戸市商工会経営発達支援計画事業評価表

	項 目	評 価				総合評価					
評価委員会による事業評価	I. 経営発達支援事業の内容					B					
	1. 地域の経済動向調査に関すること	Ⓐ	B	C	D						
	2. 経営状況の分析に関すること	A	Ⓑ	C	D						
	3. 事業計画の策定支援に関すること	Ⓐ	B	C	D						
	4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	A	Ⓑ	C	D						
	5. 需要動向調査に関すること	A	B	Ⓒ	D						
	6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	A	B	Ⓒ	D						
	II. 地域経済の活性化に資する取組						Ⓐ	B	C	D	
	III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組										
	1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	Ⓐ	B	C	D						
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	Ⓐ	B	C	D							
3. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること	Ⓐ	B	C	D							

【評価基準】 A : 100%以上    B : 80~99%    C : 30~79%    D : 30%未満

## ■令和3年度事業全体のコメント

- ・コロナ影響調査については、地域の実情把握には有意義であり、事業計画策定にも役立つものである。
- ・事業承継計画作成の実績が増えており、今後も力を入れていきたい項目である。
- ・令和3年度は創業件数が多く、今後に向けて明るい兆しが出ている。
- ・物産展等のあり方は、コロナ後もWEB使用等に形を変えていくと思われる。
- ・DXを含めアフターコロナに対応した新たな需要開拓について考える必要がある。

## ■令和4年度に向けた改善点

- ・地域の経済動向調査については、決算データをもとに商工会独自にデータベース化を図り、経営指導員が分析を行うことで事業計画策定や経営改善に活用していく。
- ・様々な場面でWEBを利用した物産展等も行われると思うので、小規模事業者のIT、DX推進に取り組んでいただきたい。
- ・キャッシュレスの取り組みなどをDXの入口として利用してもらいたい。
- ・DX化の推進の流れを中小企業・小規模事業者にも情報提供し、持続・維持可能な体制を作れるような支援を商工会が行っていく必要がある。